学校番号	306

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	2026 生活学 Navi　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう
- ・生涯を見通した生活を営むうえで必要な、知識と技術を総合的に習得します。
- ・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、多様な考え方を学ぶとともに、自分の考えをもちましょう。
- ・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけます。
- ・学習した内容を自分の生活に結びつけて考えることができるよう、問題解決的な学習の充実をはかります。

2　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて倫理的に表現するなどして課題を解決する知識及び技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、思考を深め、適切に判断し、考察したことを根拠にも基づいて倫理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて倫理的に表現するなどして課題解決に向けて、主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生涯を見通す	人生を展望する 目標を持って生きる	a:自立に向けて必要な情報収集を行い、生活課題に対応し意思決定の重要性を理解している。 B:生涯を見通した生活について主体的に考え、将来の家庭生活及び職業生活について課題の解決をめざして思考を深めている。 c:自己の自立をめざして青年期の課題に関心を持って取り組んでいる。	試験	試験 ワーク レポート	ワーク 発表
	人生をつくる	人生をつくる 家族・家庭を見つめる これからの家庭生活と社会	a:家族・家庭の機能及び社会環境の変化や課題について理解している。 b:家族法を理解し、男女が協力して家庭・社会生活に対して責任をもって行動し、課題解決する力を身につけている。 c:人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、主体的に取り組み、実践しようとしている。	試験	試験 ワーク レポート	ワーク 発表
	子どもと共に育つ	命を育む 子どもの育つ力を知る 子どもと関わる 子どもとの触れ合いから学ぶ これからの保育環境	a:子どもの身体的・精神的発達に関する知識を習得し、子どもの成育に関して理解している。また、親の保育責任について理解している。 b:子どもの発達のために親や家族及び社会の役割について理解し、実態を評価・改善する力を身につけている。 c:子どもや子育てに関心を持ち、子どもの健やかな成長について、意欲的に考え、実践しようとしている。	試験	試験 ワーク	試験
	超高齢社会を共に生きる	超高齢・大衆長寿社会の到来 高齢者の心身の特徴 これからの超高齢社会	a:高齢者への理解を深め、高齢者への尊厳と自立支援や介護について理解し、基礎的な技能を身につけている。 b:高齢者の自立生活を支える重要性について理解し、課題解決する力を身につけている。 c:高齢期の生活と福祉について地域社会に参画するとともに、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	試験	試験 ワーク	実習 ワーク 発表

2学期	食生活をつくる	食生活の課題について考える 食事と栄養・食品 食生活の選択と安全 生涯の健康を見通した食事計画 調理の基礎 食生活の文化と知恵 これからの食生活	a:食生活の重要性を理解し、栄養や食品の性質についての知識を習得している。また、調理に必要な技術を身につけている。 b:栄養、安全性、環境などの多様な視点を持ち、現代の食生活の問題点および課題を見出し、思考を深めている。 c:栄養や食品に関心を持ち自己の食生活を振り返り、健康で安全な食生活をめざす学習活動に意欲的に取り組んでいる。	試験 実習	試験 ワーク 発表	試験 実習 ワーク 発表
	衣生活をつくる	被服の役割を考える 被服を入手する 被服を管理する 衣生活の文化と知恵 これからの衣生活	a:材料・構成・衛生について理解し、健康で安全な衣生活の情報収集・整理ができる。 b:機能性や快適性について理解し、課題解決する力を身につけている。また、持続可能な社会をまざして、安全で安心な生活と消費について思考を深めている。 c:被服材料や性能等に関心を持つとともに、持続可能な社会を目指して、消費について考え、生活の充実・向上を図ろうとしている。	試験	試験 レポート	試験 ワーク
	住生活をつくる	住生活の変遷と住居の機能 安全で快適な住生活の計画 住生活の文化と知恵 これからの住生活	a:快適な住居、防災などの安全性を理解し、管理に必要な技能を身につけている。 b:住居の機能性や快適性について理解し、住居と地域社会との関わり思考を深めている。 c:住生活と住環境に関心を持ち、自分や家庭、地域の生活の充実・向上を図ろうとしている。	試験	試験 ワーク	試験 ワーク
3学期	経済生活を営む	情報の収集・比較と意思決定 購入・支払いのルールと方法 消費者の権利と責任 生涯の経済生活を見通す これからの経済生活	a:消費者の権利と責任を自覚して行動し、家計管理について理解している。 b:自立した消費者として、生涯を見通した生活における経済の管理や計画について理解し、課題解決する力を身につけている。 c:生活における経済の計画について考え、生活を工夫し想像し、実践しようとしている。	試験	試験 ワーク	試験 ワーク

	共に生き、ともに支える	私たちの生活と福祉 社会保障の考え方 共に生きる	a:生涯を通して家庭・家族の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 b:共に支え合って生活することの重要性を理解し、課題解決する力を身につけている。 c:共生社会と福祉について主体的に取り組もうとしている。	試験	試験 レポート	試験 ワーク 発表
	持続可能な生活を営む	持続可能な社会を目指して	a:持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 b:安全で安心な生活と消費について理解し、課題解決する力を身につけている。 c:持続可能なライフスタイルと環境について取り組もうとしている。	試験	試験 レポート	試験 ワーク
	これからの生活を創造する	生活をデザインする	a:人の一生について、自己と他者、社会には多様性があることを理解している。 b:自立した生活を営むための情報収集や意思決定の重要性を理解し、課題解決する力を身につけている。 c:生涯の生活設計について、主体的に取り組もうとしている。	試験	試験 ワーク	試験 ワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度